事業者用 太陽光発電システム設置のご提案

(株)さんぜコーポレーション URL: http:///www.sanzecorp



(施工会社)



ご提案主旨

「再生可能エネルキー全量買い取り制度」

2012年7月スタート

経済産業省「調達価格等委員会」が期間と買取り価格を検討中

再生可能エネルギーの1つとして

太陽光発電の全量を固定価格で買い取る制度

工場・倉庫・店舗の事業所などに太陽光発電システムを導入し 発電した電力全てを法律により電力会社に一定の価格で買い 取ることを義務付ける制度のスタートです。

太陽光発電の買取単価と期間は1kw当たり42円 20年間

屋根の資産価値に注目

【1】太陽光発電設置による節電対策と省エネビジネスの積極的な投資メッリト

- ①法律による安定的な発電買取りによる収益が見込める。
- ②事業所の屋根上の資産価値の向上
- ③省エネ対策になる。
- ④企業イメージアップにつながる。
- ⑤工場立地法の全面的な緩和になる、



なぜ事業所で太陽光発電なのか?

東日本大震災により福島第一原子力発電所の事故を契機に、原子力発電(国内54基中現在稼働中は、1基)による発電量が激減。

日本国内は今後深刻な電力不足に陥っていき、電気料金の大幅な値上げも発表されました。

今後の電気エネルギーの高騰よる企業収益の悪化に対しても又少しでも安定的な電力確保の為にも自主防衛的する必要があります。

そこで再生可能なエネルギーの「太陽光発電による分散化発電」が、重要視されております。

(東京電力2011年4月発表資料による)

太陽光発電による昼の電力需要の抑制

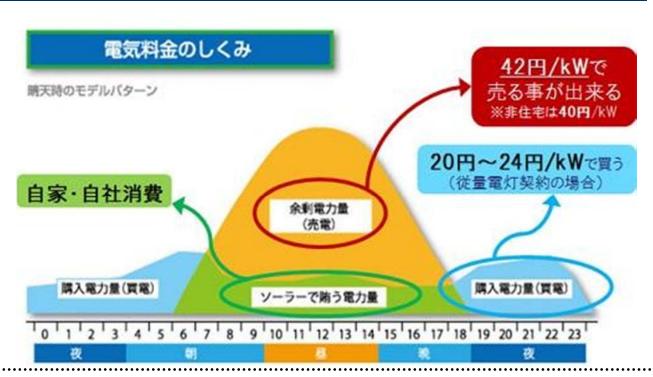
全量買取制度に伴う、新たな収入源確保

停電時の太陽光発電による電力供給

電力の削減および 電気代削減

> 停電時の 電力利用

発電余剰電力買取のモデルケース



上記は一般住宅用のモデル。企業様の日中電力消費は多いため上記、余剰電力量はほとんど無。全量買取実施においては発電分全てが買取対象となります。

参考試算例 買取り価格40円/kw (消費税含まず)

【設置費用550万円10㎞システム、年間メリット67万円】※補助金・減税分含めず

太陽光発電ソーラー10kwシステムのケース

10kw シス テム	【年間発電量】 16,800kwh とした場合	【システム構成】 (CIS太陽電池システム)・ソーラーパネル (太陽光発電モジュールで構成)・接続箱 (接地工事含む)・架 台 (耐風・耐震基礎工事含む)・受変電設備 (配電盤工事含む)	【取得価格】 (1kwあたり単価55万円とした場合) 5,500,000円/一式
全量買取		1年間の売電収入 (1kwあたり40円)	672,000円/年
上記試算内容		【全量買取金額】 年間発電時間[年間8,760Hの約20%] 1,680時間×10kw×40円=672,000円	【利回り】 5,5000,000÷672,000=8.18% (償却期間8.2年) その他補助金、節税可能金額を試算 に入れると利回りはUPする。

太陽光発電メーカーその1(非家庭用)



- ☆ 1kw当たりの実発電量が多い「ソーラーフロンティア」
- ■「CIS太陽電池」(C:銅、I:インジウム、S:セレン)
- ① 2002年2月に打ち上げられた人工衛星「つばさ」に搭載。1年7ヶ月におよぶ過酷な宇宙空間での耐久性実験で、劣化が極めて少ないことが実証されました。
- ② 太陽光発電で一般家庭用に普及している「結晶シリコン系太陽電池」と年間積算発電量を 同条件で比較したところ、CIS太陽電池が約8%高く発電したというデータが得られました。
- ③ 国産で宮崎県に生産工場有。今後、宮城県にも生産工場をつくる予定。 メーカーシステム保証20年。 1枚当たりの出力は150W。設置面積が広ければ広いほど 発電量効果が増大します。

太陽光発電メーカーその2(非家庭用)

☆その他取扱

国内メーカー「三菱・京セラ・シャープ・パナソニック

新興マタイ(S-ENERGY/KDsolar)※韓国製OEM

コスモ電機モテック・伊藤組モテック ※台湾製OEM

高島(JAソーラー導入実績NO.2) ※中国製OEM」

海外メーカー「サンテックパワー(中国製) 導入実績世界NO.1

当社でのサービス内容

- 1. 設置可能な場所での発電量の試算。
- 2. 全量買取制度をふまえた発電買取金額のシュミレーション。
- 3. 申請可能な補助金団体の調査及び申請。
- 4. 節税可能金額の試算。
- 5. 投資金額に対する回収期間の試算。